

海星 2月

薩摩川内市立海星中学校
令和6年2月26日発行

貴重な体験ができたことに感謝

校長 下中 諭



この号の学校便りにも書いてあるが、生徒会が能登半島地震への被災地への募金活動を行い、集めた義援金を社会福祉協議会を通し、被災地へ送ることができた。1月号に何かができないかと書いたときと呼応するように、生徒たちが募金活動を始めたことは、大変喜ばしいことと思う。生徒たちが意識的にこのような体験活動を行うことが、人としての成長につながると思う。

さて、今年度も海星中学校は多くの体験活動や鑑賞を行ってきた。しかも本土の子供たちもなかなか体験しないことが多かった。

7月6日にはフジテレビのディレクターによる南極講話を聞いた後に、実際に南極の氷を見て、触って、溶けるときに音を聞くなどのことができた。滅多にない機会であった。

12月1日に甌ミュージアム準備室の三宅さん、山下さんを招き、甌島の成り立ちや恐竜の化石について、講演をしていただいた。さらに、どのようにして研究者となっていくのかを聞いたのは大変興味深いことであったと思う。

1月30日には文化庁の文化芸術による子供育成推進事業で「能・狂言」をワークショップで体験し、見ることもできたのも大変良い機会であった。私も直に見るのは初めてであった。日本の伝統文化を知ることとなった。

特に2月19日には九州電力の協力により、かごしま国体旗手、リオオリンピック7人制ラグビーキャプテン(4位入賞)であった桑水流裕策さんと九電ラグビーチーム Voltex の方々を招き、ラグビー教室を開催できたのは大変貴重な経験であった。桑水流さんのようなオリンピック(オリンピックに出場した人)に生で接し、指導をもらえるということは滅多にあることではない。

このように自分自身を極めた人たちから、話を聞き、見て、指導をもらえるという機会はそうそうなく、やはり伝わってくるものには、重みがあり、深みがあったように思う。

一方、甌島ならではの体験もあった。9月の魚捌き体験や3月の里と鹿島の街歩きも珍しい。5月の1年生の宿泊学習では、魚の分別から魚捌きをするなどのこともあった。来年度は手打海岸のアマモが生息する藻場の観察を手打漁業集落の方々と行うことを予定している。

離島で少ない生徒数ではあるが、本土の学校では体験できないことを、これほど多くできたことと甌島ならではの体験ができたことは、本校の大きなメリットであった。

今、生徒たちがこれらのことをどのように思い、感じているのかは、わからない。しかし、大人になり、自身を振り返ったときに、先の人たちから、こんなことも一緒にした、こんな話を聞いた、こんなこともできたということ思い出して、これからの生き方に役立ってくれば良いであろう。また、このことがきっかけ



で、それぞれの進路へ繋がれば、更にうれしいことである。これらのことを糧に生徒全員が迎える「島立ち」で海星中の様々な体験を思い出してほしい。

芸術鑑賞会



1月30日(火)に海星中校区3小学校の5・6年生も参加し、「文化芸術による子供育成総合事業」による芸術鑑賞会を開催しました。

狂言『柿山伏』、仕舞『土蜘蛛』を鑑賞しました。鑑賞した児童・生徒は普段みることのない能楽を目の当たりにし、迫力のある演技に圧倒され感動している様子でした。この甌島に総勢23名もお越しいただき、多くの学びがあった、貴重な芸術鑑賞会となりました。



普通救急救命講習

2月1日(木)の2~4校時にかけて、2年生で普通救急救命講習を行いました。下甌分駐所の方を講師に招き、動画で確認しながら、人体モデルを使っての心肺蘇生法やAEDの実習等を行いました。実習中は、お互いに教え合いながら、真剣な態度で取り組んでいました。今回の講習が万が一のとき、生命を救うために大きく役立つものになることでしょう。



ラグビー教室

2月19日(月)に九州電力(株)の御協力により、海星中校区3小学校5・6年生も参加し、ラグビー教室を開催しました。あいにくの雨で体育館での開催でしたが、元オリンピック選手の桑水流裕策さんや九州電力の方々がラグビーのルール等を丁寧に教えてくださいました。パス練習後には実際に試合をし、一緒に汗を流しました。あまり馴染みのないラグビーですが、児童・生徒は体験を通し、理解が深まり、良い経験ができました。



能登半島地震への募金活動

今年1月1日に発生した、能登半島地震で被災された方々に、甌島に住んでいる私たちでもできることはないかと考え、生徒会による募金活動を実施しました。合計で**42,114円**集まりました。御理解と御協力ありがとうございました。集まった募金は、社会福祉協議会を通じ、被災地に届けていただきます。

この生徒会での取組を通して、一人一人の力は小さくても、みんなで協力すれば大きな力となることを学べたと思います。困っている人がいたら、率先して手を差し伸べることができる「魅力ある人」になってほしいです。



(写真：2月19日(月)に生徒会から社会福祉協議会へ募金を贈呈)

立志式

2月21日(水)に2年生は立志式



を行いました。14歳を迎えるにあたり、自分の将来の目標や夢を明確にし、その誓いを立てるとともに、保護者や周りの人への感謝の気持ちを新たにす機会と捉え、事前学習から式当日まで取り組みました。

立志式では、生徒がこれからの目標や信念を表した四文字熟語を掲げ、決意を発表しました。また、幼少期の写真や家族への感謝の言葉が綴られた動画を視聴し、最後には保護者から我が子へ激励の言葉をかけていただきました。

節目である立志式を通して、自分の将来について考えるとともに、親子の絆を深め、感動あふれる式となりました。



2月9日(金)に「鹿児島県学校給食準優良校」に選ばれ、表彰されました。これは、「自分で作るお弁当の日」等の取組が評価されたものです。また一つ海星中の特色が評価され、大変うれしく思います。

鹿児島学習定着度調査



1月16日・17日実施

	中1	国語	社会	数学	理科	英語	全教科
本校通過率(%)	83.3	60.9	73.1	75.0	78.7	74.2	74.2
県平均	75.9	54.4	74.3	66.3	77.0	69.6	69.6
県平均との差	7.4	6.5	-1.2	8.7	1.7	4.6	4.6
市	73.8	52.4	75.7	65.1	74.7	68.34	68.34
地区	73.3	52.8	74.7	65.6	76.0	68.5	68.5

	中2	国語	社会	数学	理科	英語	全教科
本校通過率(%)	66.4	60.7	83.0	75.4	79.2	72.9	72.9
県平均	65.6	62.3	68.8	66.9	71.4	67.0	67.0
県平均との差	0.8	-1.6	14.2	8.5	7.8	5.9	5.9
市	65.5	68.7	68.5	63.9	71.0	67.5	67.5
地区	64.7	66.3	66.8	66.0	69.7	66.7	66.7

1月16(火)・17日(水)に行われました、令和5年度の鹿児島学習定着度調査の結果をお知らせします。

1・2年生ともに県平均を上回る教科が増えました。県平均を下回った1年生数学については、「思考・判断・表現」の問題、2年生社会については、「知識・技能」の問題が課題となりました。課題の克服に向け、小規模校の強みを生かし、生徒一人一人の分析を行い、「個別最適な学び」の充実を図ります。

今後も、教師主導ではなく、「学習者主体の授業」の実現に向け、全校体制で「魅力ある授業」となるよう、授業改善に努めます。

月	日	曜	主な行事予定(変更の可能性あります)
3	1	金	薩摩川内いじめのない学校づくりの日
	5	火	公立高等学校学力検査~6日
	9	土	土曜授業 お別れ球技大会
	11	月	シェイクアウト訓練 卒業式予行・準備 入試体験発表会
	12	火	第46回卒業式
	18	月	甌島ツーリズム街歩き【里・鹿島地域】(一日遠足)
	25	月	修了式 離任式 PTA送別会

